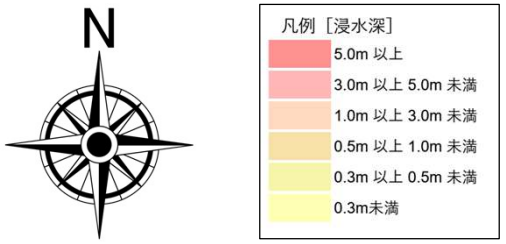
【兵庫県津波浸水想定図：明石市】



この地図は国土地理院長の承認を得て、数値地図（国土基本情報）電子国土基本情報（地図情報）を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 8JHs 368）



【構造物条件】

条件：施設あり、液状化による沈下あり、天端越流破堤あり

※ 強震動による液状化に伴い防潮堤等の防潮施設は沈下し、さらに、津波が天端を越流したら破堤するとした場合（防潮門扉、水門は全開）

※ 常時閉鎖されている、あるいは、耐震性を有し、自動化され、津波が到達するまでに閉鎖が完了できる施設は「閉」条件とする

海岸保全施設 河川管理施設	地殻変動に 伴う沈下	液状化に よる沈下	防潮門扉 水門の開閉	津波が施設天端を 越流した場合
あり	沈降のみ考慮	考慮	一部閉鎖	破堤

【重要】津波浸水想定図は「安全区域」を示すものではありません。
浸水想定図で着色されていない区域であっても、強い揺れや長い揺れを感じたら、ためらわず、直ちにより高い安全な場所へ避難してください。

【注意事項】

- 「津波浸水想定図」は、最大クラスの津波が一定の条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予想される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 実際の災害では、局所的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算条件と異なる状況が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。
- 「津波浸水想定図」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

